

土砂災害

山沿いや崖地で発生することが多い災害。坂の多い市街地でも起こる可能性があります



土砂が沢から押し寄せる「土石流」

山や川底にある大量の土砂が沢や川に流れ出す災害。時速20km~40kmで一気に押し寄せ、辺りを埋め尽くします。

斜面が突然崩れる「崖崩れ」

地中に水がしみ込み、土の抵抗力が弱まることで発生。斜面にある土砂や石、木などが勢いよく崩れ落ちてきます。

土砂災害の前兆も知っておこう

2~3時間前

- ・斜面から水があふれ出てくる
- ・川の水が濁る

1~2時間前

- ・斜面から小石が落ちてくる
- ・川に木が流れてくる

直前

- ・斜面に亀裂が入る
- ・地鳴りが聞こえる

土砂災害の危険を感じたら…

前兆に気付いたらすぐに行動

土石流や崖崩れは発生してから避難しても間に合わないことが多い災害です。前兆を感じたら、すぐにその場を離れるか、頑丈な建物の斜面から遠い2階以上の部屋に移動し、区役所に連絡してください。

土石流からは流れと直角に逃げる

土石流の勢いはすさまじく、流れに沿って逃げると飲み込まれてしまうことも。流れに対して直角に走ると逃げ切りやすくなります。

9月11日の大雨の後、皆さんから寄せられた疑問にお答えします

携帯電話にたくさん届いた緊急速報メールとは？

市と携帯電話会社が協力し、災害に関わる情報を市内にいる方に直接かつ迅速にお伝えるサービスです。今後は地域を限定して送信することなどを、携帯電話会社と協議していきます。

避難勧告が出てもどうしたらよいのか分からなかった…

避難勧告とは、災害の危険が迫っていることを伝え、直ちに身を守る行動をとることを促すものです。大雨時の避難には、近所の小中学校などの「安全な場所への移動」と、自宅などの「高い階への移動」の二つの方法があります。状況に合わせて判断することが必要です。

■避難情報は危険度に応じて3段階で発信

避難準備情報

災害を予測して避難の準備を呼び掛けるもの。高齢の方や、障がいのある方などは避難開始の目安になります。

避難勧告

9月11日に発令したもの

災害が発生する可能性が極めて高い状況で発令するもの。

避難指示

死者やけが人が出る可能性が極めて高いか、すでに発生した状況で発令するもの。

一刻も早く避難してください



▲実際に送信した緊急速報メール。大きな警告音でお知らせしました